

# 第97期 第2四半期 株主通信

2019.4.1 ▶ 2019.9.30

証券コード：6768

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より当社グループ事業への厚いご支援を賜り心より御礼申し上げます。

ここに第97期（2019年度）第2四半期株主通信（2019年4月1日から2019年9月30日まで）をお届けし、営業活動および決算のご報告と共に、今後に向けた取り組みをご説明させていただきます。ご一読の上、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長 浅田 昌弘

当第2四半期累計期間は、米国貿易摩擦の長期化を背景に厳しい市場環境となりました。

電子部品関連事業は、設備投資需要の鈍化を背景に産業機械向けのトランス・リアクタ・電流センサなどの需要が低迷し、中国市場向けのエアコン用リアクタや、電動工具用のチャージャなども弱含みで推移いたしました。電子化学実装関連事業では、車載向けの高信頼性ソルダーペースト・ソルダーレジストやスマートフォン向けのソルダーレジストが概ね期初予想に沿って推移しております。実装装置は、第3四半期以降の売上に貢献する中国以外のエリアからの受注や、炉内の汚れを大幅に低減し生産性の向上に寄与する新型リフロー装置の受注が進んでおります。情報機器関連事業は、監

視装置や放送機器の売上先送りが生じております。

足元の当社を取り巻く事業環境は予断を許さない状況が継続することが予想されますが、2019年4月にスタートした新中期経営計画「Bilrite Tamura GROWING ANEW」のもと、グループ一丸で成長市場への取り組みを進めるとともに、グローバルな生産・販売・開発体制の強化と効率化により健全な成長を目指してまいります。

なお、当期の中間配当金は1株当たり5円、期末配当予想も期初予想と変わらず1株当たり5円としております。株主の皆様におかれましては、変らぬご支援をお願い申し上げます。

## 連結業績の概要 (第2四半期累計期間および通期見通し)

売上高	
当第2四半期	通期見通し
<b>390</b> 億円	<b>810</b> 億円
前年同期比	前期比
<b>9.5%減</b> ▼	<b>6.9%減</b> ▼
営業利益	
当第2四半期	通期見通し
<b>9.4</b> 億円	<b>34</b> 億円
前年同期比	前期比
<b>50.6%減</b> ▼	<b>26.1%減</b> ▼
経常利益	
当第2四半期	通期見通し
<b>10.3</b> 億円	<b>33</b> 億円
前年同期比	前期比
<b>46.9%減</b> ▼	<b>31.9%減</b> ▼
親会社株主に帰属する純利益	
当第2四半期	通期見通し
<b>7.6</b> 億円	<b>22</b> 億円
前年同期比	前期比
<b>48.7%減</b> ▼	<b>65.6%減</b> ▼

# 決算情報

## 業績概況 Review of Operations

米中貿易摩擦を背景とした中国市場・産業機械市場の冷え込みなどにより減収減益となりました。

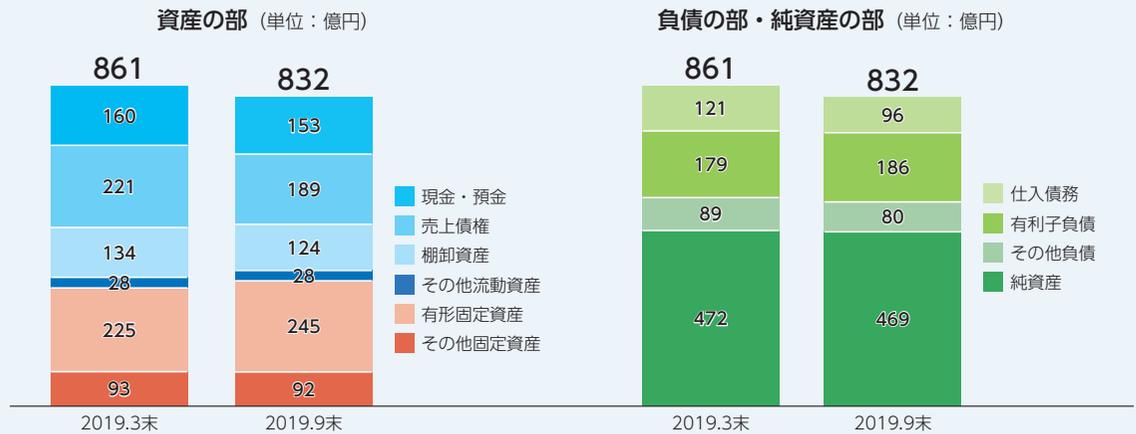
### ■ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



### ■ 1株当たり情報 (単位: 円)



## 連結貸借対照表の概要 Summary of Consolidated Balance Sheet



## セグメント情報 Segment Information



※各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

### ■ 電子部品関連事業 (単位: 百万円)



### ■ 電子化学実装関連事業 (単位: 百万円)



### ■ 情報機器関連事業 (単位: 百万円)



# トピックス

## Topics 1 | 電子部品車載工場展開の進捗

世界的に広がる厳しい燃費規制に対応するため、ハイブリッド車やプラグインハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車などの環境対応車（ストロングハイブリッド車）の需要が、急速に拡大しています。そうした背景のもと、タムラでは「環境車向け昇圧リアクタ」の生産能力増強計画を進めています。

ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車・電気自動車などの将来に向けたグローバルな需要拡大

「環境車向け昇圧リアクタ」のニーズ拡大

国内外工場における「環境車向け昇圧リアクタ」の生産能力を更に増強

2022年以降には現在の約3倍となる年間550万台の生産体制構築

計画進展

既存工場	タムラ製作所 坂戸事業所	株式会社 若柳タムラ製作所	田村汽車電子 (佛山) 有限公司
所在地	埼玉県坂戸市	宮城県栗原市	中華人民共和国 広東省佛山市
面積	4,600㎡	6,200㎡ ※	14,909㎡
投資額	40億円	22億円	23億円
生産能力	現在年間200万台 (坂戸50万台、若柳50万台を含む)	現在年間50万台を 150万台に拡大	計画年間50万台を 100万台に拡大
稼働予定	～2018年	2020年	2022年

19下  
若柳量産  
開始

19年  
7月着工

※ 車載以外を含む工場総床面積

### 田村汽車電子（佛山）有限公司

- 当初、中国における「環境車向け昇圧リアクタ」の生産増強は、当社グループの既存工場である「田村電子（惠州）有限公司」の分工場設置を検討していましたが、今後のグローバルな需要増加に対応すべく、「車載用昇圧リアクタ」の生産に特化した新たな連結子会社「田村汽車電子（佛山）有限公司」を設立する運びとなりました。
- キーププロセスとなるコアの粉体工程を内製化し、ほぼ自動化を実現したラインで、リアクタ組立までの一貫生産を行います。

### 株式会社若柳タムラ製作所車載工場

- 若柳タムラ製作所の前身「若柳電子工業」は、1966年設立。かつてはAV向け小型トランスを中心とした国内主要生産拠点の一つでした。
- その後、顧客の国内生産縮小や、2011年の東日本大震災による被災などの試練が続きましたが、将来が期待される「車載用昇圧リアクタ」の量産工場としてリニューアルすることを決定。
- 2018年8月に新社屋完成。以降、設備投入や試作品の生産を進めてまいりましたが、計画に沿って2019年下期より本格量産を開始しております。



2019年10月30日、工事開始の式典を挙げる



完成予想図  
(2022年度量産開始)



工場全景  
(2019年1月1日現在)



車載用リアクタにベストマッチしたコア材を内製化

## Topics 2 | 電子化学グローバル展開の進捗

タムラは、はんだ付材料・プリント配線板材料などの電子化学製品を世界のエレクトロニクス産業に提供しています。これらはタムラが中期計画で掲げる「車載」・「パワーエレクトロニクス」・「IoT次世代通信」の各分野で拡大が期待され、世界で「地産地消」・「地開（開発）地承（承認）」体制の構築を進めています。



番号	国	生産	販売	開発	会社名	注記
1	日本	生産	販売	開発	株式会社タムラ製作所 入間事業所	輸出分の生産を現地化
2	日本	生産			株式会社タムラ製作所 児玉工場	高機能品/国内向けは強化
3	台湾	販売			台湾田村科技(股)有限公司	台湾工場閉鎖
4	中国	生産	販売	開発	上海祥泰田村電化工業有限公司	R&D 増強、地産地消・地開地承で中国国内向けを強化
5	中国	生産	販売		田村電子材料(天津)有限公司	地産地消で中国国内向けを強化
6	中国	生産	販売		田村化研(東莞)有限公司	
7	中国			管理	田村香港有限公司	
8	韓国	生産	販売	開発	タムラ化学韓国株式会社	研究開発センターを拡充。現地顧客対応力を強化
9	シンガポール			管理	タムラシンガポール株式会社	
10	マレーシア		販売		タムラ化研(マレーシア)株式会社	
11	タイ		販売		タムラタイランド株式会社	
12	タイ	生産			ESE INDUSTRIES(THAI) CO.,LTD.	新生産拠点設立。アセアン市場・インド市場に製品供給
13	ベトナム		販売		タムラコーポレーションベトナム	
14	イギリス		販売		タムラ化研(英国)株式会社	ドイツに機能を集約
15	ドイツ	生産	販売	開発	TAMURA ELSOLD GmbH	新生産販売拠点設立。欧州車載メーカーを中心に供給
16	アメリカ		販売		タムラ化研(アメリカ)株式会社	

### ESE INDUSTRIES(THAI) CO.,LTD.

- 当社は、2017年11月、ESE INDUSTRIES(THAI) CO.,LTD.へ資本参加しました。
- タムラは長年OEM先として、ESE社にアセアン地域向けのソルダーペースト最終工程を委託してきましたが、今後は連結子会社として原材料（はんだ粉）からの一貫生産で地産地消の実現を目指します。
- 2018年10月に新設した第2工場が完成し、2019年4月より一部製品（地金・はんだ粉等）の量産・販売を開始しています。



ESE INDUSTRIES(THAI)



新工場  
ESE INDUSTRIES(THAI) 第2工場

### TAMURA ELSOLD GmbH

- 当社グループは、2017年10月にドイツのはんだメーカーであるElsold GmbH & Co. KGの株式を取得し、TAMURA ELSOLD GmbHが誕生しました。
- 同社は、従来より欧州の代表的な自動車関連メーカーが主な顧客であり、「棒はんだ、糸はんだ」などの自動車市場向け製品が、売上高の約6割を占めています。
- 現在、タムラからの指導のもと、新たに「ソルダーペースト関連製品」の生産設備を導入し、欧州エリアにおける開発・生産・販売一貫体制の構築を進めています。これにより非日系車載顧客向けの拡販を推進してまいります。



新工場  
新ソルダーペースト生産棟



新工場  
ソルダーペースト生産用クリーンルーム

## 会社の概況 (2019年9月30日現在)

- 社名 株式会社タムラ製作所
- 英文社名 TAMURA CORPORATION
- 設立 1939年11月21日
- 資本金 11,829百万円
- 従業員数 連結 4,882名 単独 911名
- ホームページ アドレス  
https://www.tamura-ss.co.jp/
- 本社 東京都練馬区
- 事業所 埼玉県(坂戸市・入間市・児玉郡・狭山市)

- 役員
- 代表取締役会長 田村 直樹
- 代表取締役社長 浅田 昌弘
- 取締役常務執行役員 橋口 裕作
- 取締役(社外) 藪宮 武夫
- 取締役(社外) 窪田 明
- 取締役(社外) 渋谷 晴子
- 取締役上席執行役員 南條 紀彦
- 取締役上席執行役員 齋藤 彰一
- 常勤監査役 久保 肇
- 監査役(社外) 守屋 宏一
- 監査役(社外) 戸田 厚司

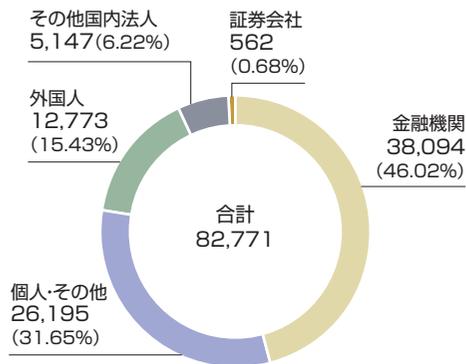
## 株式の概況 (2019年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 ..... 252,000,000 株
- 発行済株式の総数 ..... 82,066,757 株 (自己株式 704,716 株を除く)
- 株主数 ..... 10,936 名
- 大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,997	12.18%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,634	5.64%
タムラ協力企業持株会	3,488	4.25%
株式会社三井住友銀行	3,200	3.89%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,992	3.64%
株式会社みずほ銀行	2,799	3.41%
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	2,000	2.43%
株式会社りそな銀行	1,911	2.32%
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,779	2.16%
GOVERNMENT OF NORWAY	1,775	2.16%

(注) 持株比率は、自己株式 704,716 株を除いて算出しております。

■ 所有者別株式分布状況 (単位:千株)



(注) 自己株式 704,716 株 (0.85%) は個人・その他に含まれております。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告方法 電子公告

https://www.tamura-ss.co.jp/jp/finance/index.html

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネット) https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html  
(ホームページURL)

### (特別口座の口座管理機関の変更にに関するご案内)

2019年6月1日をもって、特別口座の口座管理機関を三菱UFJ信託銀行株式会社から三井住友信託銀行株式会社に変更いたしました。

## 株式会社タムラ製作所

https://www.tamura-ss.co.jp/

当冊子に関するお問い合わせ先:

〒178-8511 東京都練馬区東大泉一丁目19番43号

TEL 03-3978-2111

